

平成 26 年 12 月 25 日
独立行政法人福祉医療機構
経営サポートセンター長 岐部 宏幸
経営サポートセンター リサーチグループ
グループリーダー 千葉 正展
(電 話) 03-3438-9932
(F A X) 03-3438-0371

平成 25 年度 医療法人の経営状況について

独立行政法人福祉医療機構では、標記に関するリサーチレポートをとりまとめました。

なお、同レポートの内容は、機構ホームページ(<http://hp.wam.go.jp/tabid/1853/Default.aspx>)
にも掲載しております。

1. レポートの概要

当機構では毎年、融資先のお客さまより決算書を提出いただいております。今般、平成 25 年度の医療法人の決算(1,216 件)について取りまとめ、分析を行いました。

2. 平成 25 年度決算の概要

- 医療法人の経常利益率は前年度比 1.0 ポイント低下の 3.5%となっています。前年度より上昇した人件費率が一因であると考えられます。
- 自己資本比率は前年度比 0.7 ポイント上昇の 38.2%となっていますが、財務状況については、前年度と比較して大きな変化はありませんでした。
- 法人規模別の経営状況では、医業収益規模と黒字率は比例傾向にあり、収益規模が大きくなるほど経営の安定性は上昇しています。しかしながら、医業収益 500 百万円以上 4,000 百万円未満の間では収益規模と経常利益率に相関はみられませんでした。
- 収益率(税引前当期純損益)の赤字・黒字別では、赤字法人は借入金比率が高く不安定な経営状況にあることがわかりました。収支改善のためには、収益拡大を図るか収入規模に応じた適正な費用へと改善する必要があると考えられます。
- 社会医療法人は、社会医療法人以外の法人よりも比較的規模が大きく、経営利益率も 3.9%と他の法人よりも 0.4 ポイント高い状況にあります。

以上